

勤務条件(福利厚生)

■ 勤務時間と週休日

(日勤)
8:15~16:45(休憩45分)

週休日 ▶ 4週8休

■ 給与について※

新卒者給与月額(基本給)	
大学生	188,400円
短大3卒	177,400円
勤続5年(年収) 420万円※	
勤続10年(年収) 510万円※	

※ 各種手当を含みます。

■ 手当について※

通勤手当

住居手当

扶養手当

寒冷地手当

単身赴任手当

時間外勤務手当

など

■ 賞与について※

期末勤勉手当
(6月、12月計 4.25か月分)

※ 給与、手当、賞与についての支給額は1例です。個人の状況により変化します。

■ 福利厚生

共済組合(年金・保険)

厚生会(貸付、助成)

食堂

院内保育所

など

人事異動・ 転職について

人事異動は、年1回の異動希望調査を通じて、本人の希望、適正、経験などを考慮した異動が行われます。昇任は、本人の勤務成績などを考慮して行われます。

また、病院局から知事部局への異動もあります。

■ 休暇・休業

年次休暇

(1年20日(4月採用の年は15日)繰越制度あり)

夏季休暇(4日)

結婚休暇

産前休暇

産後休暇

育児休暇

育児休業

子の看護休暇

病気休暇

短期介護休暇

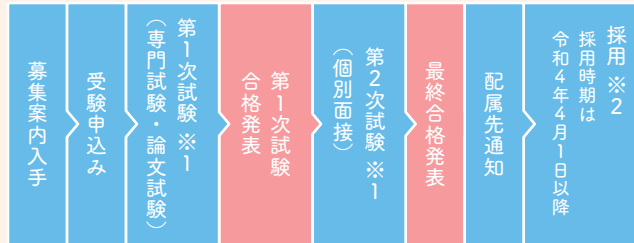
看護休暇

修学部分休業

自己啓発等休業

など

採用までのプロセス



※1 合格者全員に書面で通知するほか、合格者の受験番号をホームページに掲載します。

※2 受験資格に定める資格・免許を取得できなかった場合は採用されません。

採用試験の詳細については、4月頃に青森県立中央病院HPに掲載予定です。

県病 Q&A

Q1 院外研修に対して補助制度はありますか？

A 院外研修は、本人の希望を取り入れています。研修は出張扱いとなり、交通費と宿泊費は病院が負担します。

Q2 保育所はありますか？

A 県立中央病院の敷地内に職員の子育て支援及び医療従事者の確保・定着を目的として、職員が利用できる院内保育所を設置しています。対象園児年齢は0歳(生後8週)から就学前の乳幼児で、開園時間は7:00~22:00です。



Q3 近くに駐車場はありますか？

A 職員は許可を受けることで、病院敷地内および近隣の駐車場を無料で利用することができます。



青森県立中央病院

〒030-8553

青森県青森市東造道2丁目1-1

(TEL)017-726-8111 (FAX)017-726-8325

[病床数] 684床

[職員数] 1,547人(令和3年2月現在)

[1日平均外来患者数] 1,267人

(令和元年度実績)

[1日平均入院患者数] 560人

(令和元年度実績)

募集内容
試験日程



様々な疾患の勉強ができて、
自分自身のスキルアップに繋がります！



先輩からの
メッセージ

理学療法士

2015年採用
青森県立保健大学卒業
職種：理学療法士

青森県病院局職員を選んだ理由について

もともと地元で就職したいと思っていました。県病のリハビリテーションは、超急性期からの介入に取り組んでいることを知り興味を持ちました。

現在の主な業務について

リハビリテーション科は疾患別にチームが編成されます。私は呼吸器・がんチームに属しており、患者さんの多くはがんを患い、治療や手術のために入院している方たちです。現在は外科、呼吸器外科・内科、血液内科の患者さんが担当で、術後の早期離床をはじめ、呼吸機能のリハビリや、血液内科にて行う無菌室で防護服を着用した身体機能維持のためのリハビリ介入にも従事しています。また術前の患者さんに対しても、手術前から介入し、退院後に向けた運動指導なども行っています。



日々の業務で心がけていることについて

超急性期で状態が不安定な患者さんから、末期癌の患者さんまでリハビリ対象の幅も広いので、体調管理や病状急変などに十分気を付けて介入するように心がけています。リスク管理に関しては、最初に脳卒中チームからスタートし、ここでしっかり患者さんに対するリスク管理を学ぶことによって、その後の応用にもつながっていきます。

県病院局職員としての魅力

超急性期医療を担う青森県の基幹病院として、様々な病態の患者さんに対してのリハビリテーションに携わることができます。病院全体としてのリハビリテーションに対する理解も深く、特に各診療科の主治医の先生からの信頼を得て仕事ができることも大きな魅力の一つだと思います。

とある1日のスケジュール

正規勤務時間(8:15~16:45)



業務内容について

青森県立中央病院での主な業務について

当院では、主治医からの直接処方により、理学療法・作業療法、言語聴覚療法・摂食機能療法を提供し、診療業務をサポートしております。

障害の発症予防の取組みとして、肺がん・胃がんの術前外来リハビリ指導、パーキンソン病リハビリ教育入院や投球障害へのリハビリにも挑戦しております。

また、多用途筋機能評価運動装置(バイオデックス システム)、心肺運動負荷試験装置(CPX)や体成分分析装置などを導入し、より客観的な評価や治療効果を検証しております。

青森県立中央病院のリハビリテーション科について

当院のリハビリテーション科は、医師3名、理学療法士26名、作業療法士13名、言語聴覚士4名が在籍し、診療を行っております。入院患者は、**運動器リハビリテーション、脳血管疾患等リハビリテーション、心臓大血管リハビリテーション、**

理学療法士(PT)

身体と心の両面から機能回復・維持・予防を目的に評価・治療を行っております。

作業療法士(OT)

基本的な運動能力から社会の中に適応する能力までを維持・改善し、「その人らしい」生活の獲得を目指します。

言語聴覚士(ST)

言語聴覚療法
脳卒中による失語症や構音障害などの、言葉が出ない、言葉をはっきり言えない方の評価・訓練を行います。

摂食機能療法
主に脳卒中や誤嚥性肺炎等により、嚥下機能が低下した方の評価・訓練を行います。

新採用職員に対する研修体制について

入社1年目は、専任指導者を配置しており、職場環境適応へのサポートや基本的な治療プログラム・リスク管理の習得を目標としております。その後3年間で、主要疾患の治療を経験し、基礎的技術の習得を目標としております。

また、研究や取組みの成果発表支援を行っており、県内外の専門領域の学会などで多数発表を行っております。

※ 当院職員が、第37回東北理学療法学会大会における最優秀受賞や平成30年度青森県自治体病院・診療所職員研究論文顕彰事業における受賞をしております。

こんな資格を持つ職員が働いています！

心臓リハビリテーション指導士、3学会合同呼吸療法認定士、日本理学療法士協会認定理学療法士(スポーツ、循環、呼吸)、日本語聴覚士協会認定言語聴覚士(摂食・嚥下領域)、日本認知症ケア学会認定認知症ケア専門士、日本臨床パス学会パス認定士、(公財)日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、LSVT LOUD® 認定、LSVT BIG® 認定など

がん患者のリハビリテーションにも力を注いでおり、がんのリハビリテーションワークショップ修了者は令和3年1月現在30名在籍しております。

様々な舞台で活躍する理学療法士

- 嚥下・栄養サポートチーム
- 緩和ケアチーム
- 認知症・せん妄サポートチーム